

開講学科	建築学専攻	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		—				
科目名	建築設計演習B	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		1,2年次	選択	33002201		
担当教員	若松 均	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	後期	木曜日	6時限	
授業の教育目的・目標	建築家として社会に通じる設計のトレーニングとコンセプトの導き方、デザインの論理的思考強化とプレゼンテーション能力の向上及び専門知識の修得を目的とする。					
学科の学修・教育目標との関係	地域や社会の問題点を発見・分析し、それらを建築の問題として捉えるとともに、課題における与条件を満たし、かつ現実的な諸問題を把握した上で設計提案をしてもらう。案の客観的な評価を行い、内容を論理的に第三者に正しく伝える能力を身につけること、及び実践的な設計に役立つことを目標とした演習を行う。					
キーワード	建築の構成、環境、コンテキスト、都市、表層、空間、関係性					
授業の概要	社会的かつ複合化した用途の実務に則した設計演習を主とし、即日設計も含めて2~3の設計演習を行う。コンテキストの分析と法規チェックをした上でエスキース(スケッチ、スタディ模型)に取り掛かる。毎回、スタディ模型等の作業、デザインプロセスのプレゼンテーションを課し、学生も含めて意見交換を行う。					
授業の計画	第1回： ガイダンス及び課題1(都市型住宅の設計)説明 第2回： 計画地リサーチ、建築計画的資料収集と事例研究など 第3回： エスキース1(コンテキスト、建築規模、プログラム) 第4回： エスキース2+ドローイング 第5回： 課題1提出+講評+課題2(都市型複合施設の設計)の説明 第6回： エスキース1 第7回： エスキース2 第8回： エスキース3 第9回： エスキース4 第10回： ドローイング+プレゼンテーションの構成とコンセプトのまとめ 第11回： 課題2提出+課題2講評+課題3(小さな公共空間の設計)の説明 第12回： エスキース1 第13回： エスキース2 第14回： ドローイング+プレゼンテーションの構成とコンセプトのまとめ 第15回： 課題3講評及び全体講評					
受講条件・関連科目	学部での設計科目及び卒業設計の履修。 建築計画・意匠分野の全ての科目及び建築構造計画特論など横断的な専門科目。					
授業方法	設計実務に通じる設計のトレーニングとコンセプト導き方、デザイン論理の思考強化とプレゼンテーション能力の向上を目指して、毎回、スタディを行う。					
テキスト・参考書	その都度、紹介する。 「Vecterworks(ベクターワークス)」を活用する。					
成績評価	期末試験(0%)・レポート(0%)・その他(設計演習、プレゼンテーション含む)(100%)					
履修上の注意	設計課題は就職活動時のポートフォリオになるので、自分自身が納得でき、客観的な評価が得られる作品を創って欲しい。アイデアコンペ、実施コンペに積極的に参加すること。					